ケーススタディ講座アンケート　結果報告

 0906　SIC事務局

下記は８/２７－８/２８に開催した研修講座のアンケート結果をまとめたもの。

SIC主催のイベントの今後参考のために委員からの意見をお願いしたい。

1. 参加人数　２３名（参加申込　２４名　当日１名　欠席）

参加企業　富士通　３名　東芝　１名　KKE　１名　日立横浜研究所２名

　日立システムズ　１名　日立物流　１名　NRI　１名　マツダ１名　横河２名

学術会員　人財育成協議会委員　４名

委員以外　IPA/DADC　　　　　３名参加

非会員　　１名

1. 運営　人財育成協議会　日立　古屋氏
2. 主催者挨拶　講師

主催者挨拶　木村副センター長　全体進行者　神戸大学　貝原先生

松本雅行様　(元 　JR東日本旅客鉄道株式会社執行役員)

馬場裕一様　(JR東日本旅客鉄道株式会社)　　金澤直幸様　(株式会社日立製作所）

1. ファシリテ**ー**タ　5名　敬称略　古屋 大道 矢野 大野 五味
2. アンケート項目　Q1～Q7　　回答者　１４名　回答率　６１％

Q1　氏名　　Q2　所属

Q3　本講習は事前のご期待に応えるものでしたでしょうか？

⇒　期待通り１２名　期待以上２名

Q４ 期待以上、期待以下の方にお伺いします。どのような点か？ご記入可能でありましたらお伺いできますと幸いです。⇒　コメント　下記を参照

Q５　本講習を友人や仕事仲間に勧める可能性はどの程度ありますか?

　　⇒　　推奨者 1　,　消極的　4　,反対 9

Q6「システムイノベーションのケーススタディ講習(第二回)」に関するご意見・ご要望が御座いましたらご記入下さい。ご参考までにトピックについて例示させて頂きます：

　　**ご案内の時期、募集要項の内容、事前案内、募集事前配布資料、事前課題**

**講義、グループ討議、全体討議、当日配布資料　ご連絡、Teams運営 など"**

**⇒　下記表に回答者９名のコメント参照**

Q7 今後のシステムイノベーションセンター主催のイベントに対するご意見・ご要望が御座いましたらご記入ください。　　⇒　回答なし

(１)　Q3の回答で２名が期待以上と回答。　期待以上と回答した人のコメント

|  |
| --- |
| (1)２日間、ありがとうございました。短い時間ではあったんですが、グループで議論しながら限られた時間の中で良いアウトプットができたのかなと思います。今後本サービスをよりよくするために、あえて辛口意見を述べさせて頂きます。２回目という事もあるのでしょうが、音声の不具合がとても残念でした。また、グループ討議という事もありますし、アイスブレイクなどを取り入れたファシリテートの向上を期待したいと思います。（受講生だよりになっていたと思います）。あと、グループ討議の時間が短かったという印象です。また、グループ討議の時間を分けてもよいかと。例えば、「サービスを考える時間」いったん戻って「次はシステムを考えてみましょう」というように主催側であえて分けておくといった事も配慮できると思います。１回だとどうしても、時間配分が難しい場合があると思います。 |
| (2)JR様のコメントで、ATOSシステム構築時の背景や現在検討中のシステムの話をいただけたのがありがたかったです。進むべき方向を学習できました。 |

（２）Q5:　本講習を友人や仕事仲間に勧める可能性はどの程度ありますか?

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ０ | １ | ２ | ３ | ４ | ５ | ６ | ７ | ８ | ９ | １０ |

　可能性は全くない　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　極めて可能性がある

回答

２（１名）、　４（２名）、　５(１名)、　６(５名)、　７(１名)、８(３名)、９(１名)



推奨者 1

消極的 4

反対 9

(3) Q6「システムイノベーションのケーススタディ講習(第二回)」に関するご意見・ご要望が御座いましたらご記入下さい。　９名の方から回答

|  |
| --- |
| **(1)**今回のケースは高度で、これに基づいてグループ研修を行うには、鉄道業務に関する事前知識が必要でないと困難ではないでしょうか？2日間のセミナーむけにケース記述を簡略化する必要があると感じました。 |
| **(2)**事前課題にある程度時間が必要のため、課題の配布を早めにしていただけるとより良いと思いました。また事前課題をやってこられない方がおられると、グループ討議の時間が足りなくなるので、そのあたり調整できればと感じました。 |
| **(3)**チーム内の情報共有手段につき（特にmiro）、もう少し早いタイミングで知らせてほしかったと思います。あるいは、オンライン開催でのコラボレーション作業について、ある程度時間を取るなどあるとよかったと思います。 |
| **(4)**討議の課題はすごく興味深いものでもっと時間をかけて議論したなと思いました。例えば、コロナ禍ですのでグループであいさつは事前に行って事前課題の担当割りや資料纏めを出来れば講座当日の討議時間を確保できるのではと思いました。 |
| **(5)**事前課題があまり取り組めずに参加してしまったのが個人的に惜しい気持ちだったので、もうすこし前までに確定させてしっかり取り組むとより楽しい時間が過ごせたように思います。Miroなどの使うツールの検討で少々手間取ったこともあり、例えば課題のフォームをMiroで事前に作るなど利用ツールのチュートリアルがあればもっと有意義になるかと思いました。 |
| 1. 今回、ATOSのデータを利活用することで考えられる新しいサービスを考えるという、常日頃触れている生活の一部に対するイノベーションを議論できることが大変良かった。それについて実際にATOSに関わる講師の方より講評いただけたのも大変有意義で、今後の業務にも活かせるポイントが多くあったのでよかった。
 |
| **(7)**●ポジ・**討議のためのツールをトライされたのは好感**・チーム討議にファシリテータを割り当てたり、講師が巡回して様子確認する形は好感・チームメンバーに寺野先生がいらっしゃり、アドバイスが助かりました。・Day2のファシリでの技術支援は助かりました。・貴重なATOSの技術を、歴史的経緯含めて学べた。・**Day1後、宅飲み（？）でコミュニケーションとれたのが良かった。**●頑張っていただきたいところ**（受講者の暗黙の期待感に応えるために）**・音声不良の改善・チームビルディングの改善・運営側内部連絡を受講者側に見えないようにする。・ファシリツールは、（なるべく）受講者が事前にお試ししておくように。※もし、Teamsで（Zoomのように）受講者を強制的にブレークルームに移動できる機能があるなら、そのほうが（講座中は）トラブルが少ないのでそうしてほしいです。その反面、宅飲みの際は、昨日のように自由移動できる設定が良いです。 |
| **(8**)事務局とご意見番の意見が合っていないようでしたので、合わせたほうが良いかと思います。素人の議論にダメ出しをするなら、もっともっと早い段階が良いかと思います。進研ゼミのような、複数回の添削教室の方が良い気がします。生徒同士の添削・感想もありで。 |
| **(9)**事前課題の資料読み込みや検討に時間がかかりましたので課題を早めに配布していただきたかったです。あとは議論する時間が足りなかったです。今回の議論内容だと2日間は必要かと存じます。特に2日目は1日目の講習が終わってから検討に入るので深く考える時間がとれませんでした。また、**土曜日だったからか2日目は欠席の方が多かったので平日2日間がよいかもしれません。**グループ討議では、ファシリテートの方がうまく議論をまとめて進めてくださったり、タイムキーパーをしていただいたりと大変助かりました。 |

(4) Q7　今後のシステムイノベーションセンター主催のイベントに対するご意見・ご要望が御座いましたらご記入ください。

　 ⇒　回答なし